

石川町

議会だより

No. 202

令和元年 12月1日

発行／石川町議会

編集／石川町議会

広報常任委員会

一日も早い復興へ

2019

9月定例会

- P2 台風19号災害
- P4 9月定例会 審議結果
- P7 紙上中継（常任委員会）
- P8 9月定例会 一般質問
（町政をただす）
- P13 あれからどうなった？
（一般質問のその後は）

クリスタルパーク駐車場を埋め尽くす災害ゴミ

災害は忘れたころにやってくる 令和元年台風19号 約620世帯で床下床上浸水 まさか！薄かった危機感 昭和16年以来78年ぶりの大水害となる



石川自動車教習所を破壊した北須川の濁流

このたびの台風19号により、被災された町民の皆様に対しまして、心からお見舞いを申し上げます。

台風19号による被害は、78年ぶりの水害となり、災害に強い石川町のイメージを覆しました。千五沢ダム建設後は、大きい水害から免れてきましたが、記録的な大雨により広範囲に及ぶ床上・床下浸水、農作物への影響など、まさかという気持ではなかったかと思っています。

町議会といたしましては、各議員からの被災状況、町民の皆様からの災害対応に対する意見及び要望事項等を集約し、町執行部など関係機関へ要望活動を行ってまいりました。

被災された町民の皆様の生活再建被災事業者等の経営再建と安定を図るためには、解決しなければならぬ課題が山積し、まだまだ時間を費やすことと思いますが、一日も早く石川町が復旧・復興できるよう町執行部と連携し尽力してまいります。

今後におきましても、町民の皆様のご代表機関として災害対応体制を整え、責務と役割を担ってまいります。

石川町議会 議長 草野伝明



鳥内地区で被害状況を調査する議会



流出した社川「川井橋」



床上浸水した旧町内



濁流により基礎ごと動いた兎田地区の住宅

大量の災害ゴミが発生 ゴミ処理を急ぎ復興へ動き出す



道路から泥を取り除く消防団



もどった笑顔！20日ぶりに再開した水郡線



頼りになる自衛隊（消毒作業）



心強い災害ボランティア

はどう使われたのか

決算 審議



平成30年度 会計別決算審議

(万円未満は四捨五入)

会計別		歳 入	歳 出	歳入歳出差引額	採決	賛・反
一 般 会 計		75億5,340万円	72億9,288万円	2億6,052万円	認定	全員賛成
特 別 会 計	国民健康保険	17億1,816万円	16億6,901万円	4,915万円	認定	全員賛成
	後 期 高 齢 者 医 療	1億7,964万円	1億7,857万円	107万円	認定	全員賛成
	介 護 保 険	17億6,903万円	17億209万円	6,694万円	認定	全員賛成
	母 畑 財 産 区	1,872万円	63万円	1,809万円	認定	全員賛成
	中 谷 財 産 区	1,451万円	38万円	1,413万円	認定	全員賛成
	土地開発事業	1,232万円	296万円	936万円	認定	全員賛成
	宅地造成事業	908万円	757万円	151万円	認定	全員賛成
	水 道 事 業 会 計	剰 余 金 処 分	消費税及び地方消費税を除く利益剰余金4,666万円は、建設改良積立金に積み立てをする			可決 及び 認定
収 益 の 収 支		3億9,902万円	3億5,236万円	4,666万円		
資 本 の 収 支		9,416万円	1億5,520万円	△6,104万円		

(水道事業会計における、資本的収支の不足分は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び建設改良積立金で補てんした。)

令和元年9月定例会は、9月26日から10月8日までの13日間の会期で決算審議を中心に開催されました。はじめに、平成30年度健全化判断比率、資金不足比率の報告があり、一般会計・特別会計及び水道事業会計の決算を審議、そのほか条例の一部改正や補正予算、町道路線の認定及び廃止を審議し決定しました。

一般質問には5人の議員が登壇し、29人の傍聴者がありました。

平成30年度主な事業

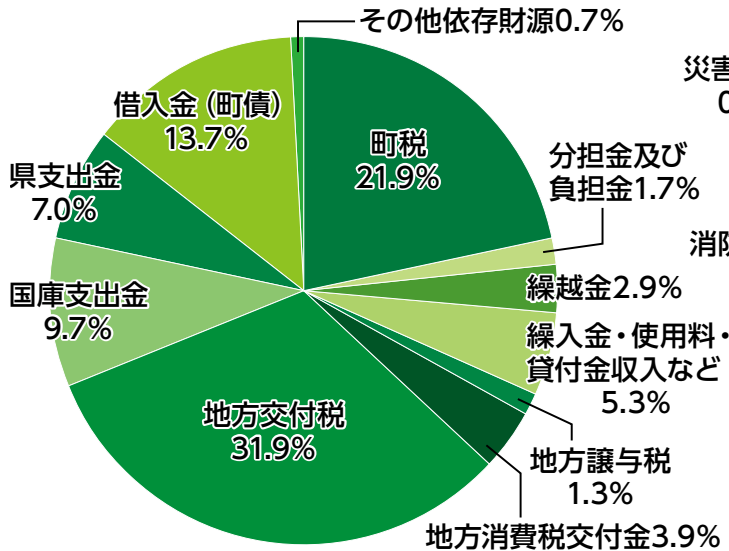
- ◆ 文教福祉複合施設整備事業
 - ◆ 石川中学校給食調理場建設事業
 - ◆ 子育て応援事業
 - ◆ 保育料等軽減事業
 - ◆ 通学援助事業
 - ◆ 給食費補助事業
 - ◆ 若者子育て世帯住宅取得支援事業
 - ◆ 公共施設Wi-Fi整備事業
 - ◆ コンビニ交付サービス事業
 - ◆ 農業農村整備事業
 - ◆ 道路新設改良事業
- その他、さまざまな事業に使われました。

30年度 一般会計

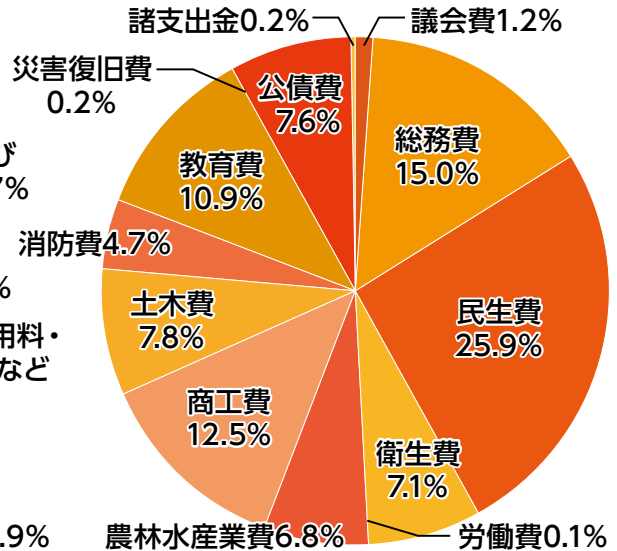
総額108億5千万円

一般会計決算の内訳

歳入
75億5,340万円



歳出
72億9,288万円



平成30年度石川町健全化判断比率について(報告)

区 分	早期健全化比率	平成29年度(参考)	平成28年度(参考)
①実質公債費比率(3年間平均)	5.0% (起債の許可が必要18.0%) (早期健全化基準25.0%)	5.3%	6.1%
②将来負担比率	12.9% (早期健全化基準350.0%)	18.6%	16.3%
③実質赤字比率	黒字決算のため算定なし	—	—
④連結実質赤字比率	黒字決算のため算定なし	—	—

*①元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率
②将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率

平成30年度石川町資金不足比率について(報告)

区 分	資金不足比率
水道事業会計	資金不足がないため算定なし
宅地造成事業特別会計	資金不足がないため算定なし

決算審査報告
代表監査委員 南條 一夫
監査委員 近内 雅洋

【審査結果】
平成30年度決算審査は、水道事業会計を2日間、一般会計及び特別会計などを7日間審査しました。監査の結果は、各会計とも決算の根幹については適正に処理されており、用や予備費の充当は、

やむを得ないものが大部分でしたが、流用時期、事由からして当初の予算措置が可能なものと認められました。事業の見通しを的確に把握し適切な予算執行をお願いします。また、収入未済額については原因等を的確に把握し、納税・納入についての適切な指導を行うとともに、収納体制の強化と債権管理条例等を早急に整備され、収

入未済額の圧縮に一層努力されることが望まれます。町の財政状況については、地方公共団体財政健全化法に基づく実質公債費比率及び将来負担比率は前年度に比べ改善し、いずれも早期健全化基準を大きく下回っていることを確認しました。

【審査意見】
財政の示す数値が一定の水準を保っているとはいえず、町税、地方交付税、各種交付金等の減収や、今後見込まれる大型プロジェクトの導入等により、財源確保が一段と厳しくなることが予想されます。今後とも、健全な財政運営に配慮しつつ、各般の施策展開と確実な事務事業の執行の向上と町民福祉の向上に寄与されるよう望むものです。

議案 審議結果

議案番号	議 案	審議結果
議案 第47号	石川町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案 第48号	石川町税条例等の一部を改正する条例	可 決
議案 第49号	平成30年度石川町一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第50号	平成30年度石川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第51号	平成30年度石川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第52号	平成30年度石川町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第53号	平成30年度石川町母畑財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第54号	平成30年度石川町中谷財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第55号	平成30年度石川町土地開発事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第56号	平成30年度石川町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第57号	平成30年度石川町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決及び 認 定
議案 第58号	令和元年度（平成31年度）石川町一般会計補正予算（第3号）	可 決
議案 第59号	令和元年度（平成31年度）石川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案 第60号	令和元年度（平成31年度）石川町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案 第61号	令和元年度（平成31年度）石川町宅地造成事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案 第62号	令和元年度（平成31年度）石川町水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
議案 第63号	町道路線の廃止について	可 決
議案 第64号	路線の町道認定について	可 決
議案 第65号	文教福祉複合施設駐車場整備工事請負契約の締結について	可 決

町へ要望書・議会活動中間報告書を提出しました



議会では、台風19号に伴う被害に対し、町民生活の一日も早い安定と復興・復興、安全安心なまちづくりに資することを目的に、4班体制で活動しました。

11月7日に、町内の被害状況をまとめた要望書と復興・復興に向けた議会活動中間報告書を塩田町長へ提出しました。



▶ 第9回水郡線児童絵画「展入賞作品



総務産業建設常任委員会

水郡線の活性化に対する取り組みについて

沿線の11市町村による水郡線活性化対策協議会を組織し、利用の促進と利便性の向上に取り組みました。主なものとして、JRに対するダイヤ改正及び施設改善要望、利用推進啓発カレンダーの作成、ホームページやパンフレットによる啓発に取り組みました。

また、水郡線児童絵画展や奥久慈清流ライン水郡線地酒まつりなどの愛称普及事業も実施し、水郡線の利用促進を図っています。

旧姓(旧氏)併記はこんなときに役立つ!

こんなときに!

各種の契約や銀行口座の名義に旧姓が使われる場で、その証明に使えます。



こんなときに!

就職・転職時など、仕事の場面でも旧姓で本人確認ができます!



文教厚生常任委員会

印鑑登録証明書に旧氏を併記できるようになります

婚姻等で氏に變更があつた場合でも、従来称してきた氏を住民票、マイナンバーカード、印鑑登録証明書に併記し、公証することができるようになります。

旧氏併記すると各種の契約や就職・転職時など仕事の場面でも活用することが出来ます。

旧氏併記を希望される方は、町民生活課町民係で手続きができます。

Q 鳥獣被害対策専門員の雇用を

A 有効な手段と考え検討します



根本 重泰 議員

質問 イノシシの被害状況は。

答弁 水田畦畔の掘り起こしや稲の踏み荒らし、芋類の掘り起こしや飼料作物の食い荒らしなど、農地から農作物までの広範囲に及んでいます。

質問 今後の対策について伺う。

答弁 鳥獣被害対策実施隊と連携し、捕獲用わなの設置やまき狩り猟の実施の継続、電気柵の補助と効果的な設置をさらに促進させ、被害軽減に努めてまいります。と考えています。また、わな猟免許取得

のための支援についても検討してまいりたいと考えています。

質問 嘱託専門職員、地域おこし協力隊の雇用を考えては。

答弁 かなり有効な手段と考えています。猪苗代町では専門職員を配置し、生息調査・地域ぐるみの総合的な対策で被害の軽減を図り、国から表彰を受けているという資料が手元にあります。地域おこし協力隊の活用も、今後検討させていただきます。

Q 地域整備事業の予算を増やせないか

答弁 必要性、重要性、そして緊急性を十分に踏まえて、次年度は単独予算を少し増やし、地域が少しでも良くなるよう検討させていただきます。



▲優良農地を守りましょう！

できます。

Q 優良農地を維持するための町内圃場整備方針について伺う

答弁 圃場整備をして、

安定した経営をすることとは、最も大事なことです。農業は産業の基盤であります。専門の職員を配置して、将来のため、地域のために進めていきたいと考えています。

Q 高齢者の温泉利用の助成は

A 来年度以降、実施を検討します



菊池美知男 議員

過疎対策について

質問 少子化対策は、どのようにして進められているか伺う。

答弁 少子化は多くの市町村が抱える課題であり、本町においてもその対策は最重要と位置付けています。保健福祉、医療の充実、各種教育の充実、住環境の整備のほか、雇用の創出や協働によるまちづくりなどの施策に取り組んでいます。

質問 かつての町の賑わいを取り戻すための具体的な対策を伺う。



答弁 長い期間を要することから継続的かつ効果的な施策を進めていくことが必要であると考えています。

高齢者が安心して豊かな生活をおくるための対策について

質問 高齢者等が特殊詐欺に遭わないための

防止対策を伺う。

答弁 石川地方消費生活相談室で、問題解決のための助言や斡旋を行っていると思います。また、被害防止のための普及啓発に努めています。

質問 高齢者の温泉施設利用の考え方について伺う。

答弁 来年度以降、前

向きに地元温泉旅館を利用することを前提に、高齢者に補助することを検討させていただきたいと思っています。

農産物の販路拡大やブランド向上対策について

質問 道の駅構想は、現在どのようになっているか伺う。

答弁 6月に道の駅整備検討委員会を設置し、先進事例調査と2回の検討委員会を開催し、ご意見とご助言をいただいて参りました。

質問 農産物の首都圏等に対する販売戦略等の考え方を伺う。

答弁 毎年、農業協同組合や関係機関が一体となって、首都圏でのトップセールスを実施しながら、町の農産物のPRに努めてきたところであります。

Q 国道118号沿線に災害支援センターを

A 道の駅に災害時の支援拠点を検討する



瀬谷 寿一 議員

質問 人口減少が加速度的に進み人口ビジョンと現人口に大きなずれが生まれている。

答弁 人口減少が5年早く進んでおり、危機感を持っています。

質問 地域の小学校跡地に緊急ヘリポートの設置をできないか。

答弁 町内3箇所を地域防災計画でヘリコプターの臨時離発着場として指定しています。今後必要であれば、追加指定を検討します。

質問 農業人口が減っている。家族農業（小農）でも暮らしが成り

立つ仕組みを考えられないか。

答弁 施設園芸による少量多品種栽培等の推進を図り農家所得の向上に努めます。

質問 観光交流事業の強化のため観光物産協会の法人化を。

答弁 観光物産協会の法人格取得など新組織確立の取り組みを行い、町の魅力アップに向け発展的な事業を取り組めます。

質問 町長が言うお金をかけない鉱物館整備の具体策は。

答弁 未利用の町有地への鉱物館建設、または、既存施設等を改修しての整備が

考えられますが、基本構想でこれらも検討します。

質問 県立石川高校の存続には、魅力的な新学科の設置が必要と思うが。

答弁 新学科設置の実現に関しては難しい課題があると考えています。



▲県立石川高校存続のために具体策を！

提案 温泉旅館やお菓子屋さんと連携して、シェフやパティシエなどを養成する「カフェ科」鉱物や岩石から地球の未来を学ぶ「地球科学科」の設置を提案する。

この学科の実習施設として道の駅レストラン、鉱物館を町が整備し、更に専門講師やフィールドで支援を行い全国から生徒を集めてはどうか。三重県相可高校、群馬県尾瀬高校から学んでほしい。

質問 高齢者の自由な活動をサポートするためにドア・ツー・ドアの交通システムを早急に。

答弁 「予約型乗り合いタクシー」をドア・ツー・ドアに近い「区域運行型」方式に。また、「タクシーチケット補助制度」の導入も検討していきます。

Q ひらた中央病院要望の公設民営の考えは

A 公設民営は考えていません



渡辺 実 議員

質問 町政運営の基本的考え方を伺います。

答弁 町民と知恵を出し合い、柔軟な発想と大胆な行動のもと、魅力ある町づくりを進めます。

質問 公約の具体的な取り組みを伺います。

答弁 病院誘致は検討委員会を設置し、年内に方向を決定します。道の駅は検討委員会を設置、鉱物館は基本計画を策定中です。

質問 病院誘致の考えは。

答弁 ひらた中央病院が石川に来るなら、土

地は協力しましょうと話をしました。検討委員会の意見を受けて町のスタンスを決めていきます。

質問 病院からの要望は。

答弁 「公設民営でお願いしたい」と言われています。

質問 公設民営の考えは。

答弁 公設民営は考えていません。

質問 既存診療所等との関係をどう考えるのか。

答弁 皆さんの意見を聞くために、医師会長に検討委員会の委員に入ってもらっています。

要望 是非、診療所等との話し合いを持ってほしい。

Q 移住希望者が増加、町の促進体制は

A 移住定住推進本部を設置、推進する

質問 移住に関する状況と町の取り組みを伺う。

答弁 昨年度の県への相談件数は11,774件、移住者は557人と増加しています。認知活動、交流活動、試し居住の二地域居住から移住に結びつけていきます。

質問 受入体制の充実を。

答弁 移住定住推進本部を設置し、推進します。

Q 歴史文化基本構想の具体化の取り組みは

A 町史学習会や鉱物教室など開催中です

質問 3月に、歴史文化基本構想を策定したが、概要を伺う。

答弁 文化財の保存・活用・継承のため、文化財を町づくりに結びつけるため策定しました。基本方針は「知る」「つなぐ」「活かす」「伝える」です。

質問 具体化に向けた取り組みを伺う。

答弁 今年度は町史学習会、古文書教室、文化財巡り、鉱物教室、資料館企画展、地質講演会、出前授業など普及啓蒙事業に取り組んでいます。



▶ 石川町歴史文化基本構想

Q 空き家バンクの創設について

A 年度内の創設を目指します



乾 初美 議員

【質問】 本町における現在の空き家数と近年の増加率について伺う。

【答弁】 平成27年度の調査では、318件確認しました。本年4月には49件増の367件になり、4年間で約15%増加しています。

【質問】 空き家バンクの創設に対する状況について伺う。

【答弁】 年度内での空き家バンク創設を目指しているところです。

【質問】 空き家の活用方法と、住宅確保要配慮者に対する本町の施策状況と今後の方針について伺う。

【答弁】 空き家バンク創設による利活用だけでなく、今後は町営住宅以外での要配慮者への住宅の提供を図ってまいります。

【要望】 不要な空き家の準町営住宅化を提案いたします。空き家対策にもなりますし、地方自治体が支払わなければならない町営住宅の建設費を下げるメリットがあります。今後は要配慮者に対する支援に加えて、移住者への円滑な入居の促進にもつなげていただきますようお願いいたします。

【質問】 これまでの行政区要望の取りまとめ方法や対応状況について、また、今後はどのような方法で対応されているのか伺う。

【答弁】 道路の修繕や資

材支給等は直接所管課で受理しています。行政区長の皆様には、実施できるもの、検討していくものなど説明・回答しています。

【要望】 町内の全行政区

を対象に、区長への提出期限を設けた文書での取りまとめを提案いたします。進捗状況や優先順位の見える化を促していただきたいです。



▲事例：玉川村空き家・空き地バンクサイト

あれからどうなった？

一般質問のその後は

平成30年9月
定例会より



▲施設を見ながら説明に聞き入る検討委員の皆さん(川場田園プラザ)

道の駅構想について その後の状況は

●道の駅構想について、開業ができるように進めたいという答弁だったが、その後の進捗状況は。

●本年6月に「石川町道の駅整備検討委員会」を設置し、これまで、先進事例調査を挟み、3回の検討委員会を開催し、整備コンセプト・導入機能や施設等について、委員の皆様から様々なご意見・ご助言をいただきました。今後とも、様々な資源を活かして地域

活性化の拠点となるよう、十分な議論を重ねて揺るぎないコンセプトを作り上げ、近隣市町村にない特

てまいります。併せて、直売施設の運営組織の検討とともにまいります。

介護職不足について その後の対策は

●介護職員初任者研修(ホームヘルパー 資格取得)の実施、研修受講料の補助、

奨学金制度等の有効な施策を検討するという答弁だったが、その後の対策は。

●介護分野の人材確保を図るため、平成31年度から「石川町介護職員初任者研修受講補助金」を設けました。

石川町に住所を有し、介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級)の資格取得後、介護事業所に3ヶ月以上就労した方を対象に、5万円を上限に資格取得に要した費用を補助します。



▲楽しくさくら荘で過ごしています

未来に向かつて

・高校生の声

学法石川高校

2年 水野 雄清

さまざまな視点から



水野雄清さん

私は昨年十ヶ月のカナダ留学を経験しました。「英語が話せるようになりたい」という一心で決意しましたが、学ぶことができたのは英語だけではありませんでした。

授業では自分の意見を発表する機会が多く、それまで物事に対してあまり関心を持てずにいた私にとって、はじめは戸惑いや難しさを

感じることもばかりでした。周囲の友達とはできているのに自分ではできない。その悔しさから、どんな小さなことに対しても自分の意見を明確にしていこうと思うようになり、それからの私は変わりました。

周囲の意見に耳を傾けるだけでなく、はっきりとした自分の意見を持つことによって、比較もでき視野が広が

ると身をもって知ったのです。

私はこれから多くの人々との関わりの中で、さまざまな視点から物事をとらえていきたいと考えています。そして、ボランティアなどの活動を通して、その時その時自分の置かれた場所で誰かの役に立つ、それが私の夢です。



▲千葉大学留学生ワークショップに参加しました

編集後記

議会広報常任委員会
 となって初めての編集です。議会広報が町民のみならず身の身近なもの、頼りになるものになりたいと考えています。一期議員3名、二期議員3名の6名が担当します。どうぞよろしく願います。

この編集期間中に本町でも台風19号による甚大な被害を受けました。床上・床下浸水約

620世帯という昭和16年以来の大水害となりました。被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。議会広報としても被害の状況と復興に向けた取り組みの紙面を急遽追加した次第です。

私たちは、町民の皆様に期待されるような紙面づくりをしたいと考えております。フレッシュなメンバーを加えた議会広報を楽しみにしてください。

瀬谷 寿一

議会を傍聴 しませんか

12月定例会
 「一般質問」は
 12月9日(月)の
 予定です。

議会広報 常任委員会

委員長	瀬谷 寿一
副委員長	藤島 一浩
委員	乾 初美
委員	菊池 美知男
委員	根本 重泰
委員	小木 芳郎